

## 第 70 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 4 年 3 月 1 5 日（火）10：00～10：30

場 所：県庁 10 階 防災センター

出席委員：三島委員、泉委員、大堀委員、望月委員、

（WEB 出席）鞍谷委員長、玉川委員、西本委員、近藤委員、黒崎委員

議 題：

- （1）原子力発電所周辺の環境放射能調査について
  - ・令和 3 年度 第 3 四半期（9 月～12 月）報告
  - ・令和 4 年度 計画
- （2）発電所の運転・建設および廃止措置状況について
  - ・令和 3 年 1 2 月～令和 4 年 2 月分報告

概 要：

- ▶ 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- ▶ 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査）

令和 3 年度 第 3 四半期

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。

令和 4 年度 計画

- ・ 令和 3 年度の調査計画を踏襲し、線量率連続測定を 97 地点、積算線量を 27 地点で行うとともに、環境試料 1,323 試料を用いた核種分析等を行う。

（発電所の運転および廃止措置状況）令和 4 年 1 月～3 月

- ・ 今期間の運転状況は、計画外の原子炉停止や出力抑制はなかった。運転中のプラントは高浜 4 号機および大飯 3 号機となっている。現在、県内発電所 6 基が定期検査中となっている。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象は 1 件あった。

<主な質疑>

Q.

ふげんの階段での負傷について、両手で荷物を持たないよう指導していないのか。

A.

そこまで厳格なルールではなく、物の大きさによって両手で持つこともある。

以 上